

〔切葉類の生産安定に関する試験〕

## 各種農薬による汚れがイカダバルスカスの出荷品質へ及ぼす影響

中村圭亨・金川利夫\*

(八丈島園芸技術センター・\*中央農業改良普及センター八丈)

【要 約】出荷前のイカダバルスカスに農薬散布によって葉の汚れが生じた場合、商品価値が著しく損なわれるため、各種殺虫剤および殺菌剤による葉の汚れ具合を観察した。オルトラン水和剤とトップジンM水和剤で汚れが著しく発生した。頭上灌水や水浸漬によっても容易に落ちなかった。

## 【目 的】

八丈島で多く栽培されているイカダバルスカスは、栽培する上で、アブラムシ、アザミウマ等の害虫やコウジカビ病、灰色カビ病などといった病気による被害がみられる。通常、これらの防除に農薬を使用するが、薬剤によっては葉の汚れが生じ、商品価値が著しく損なわれる可能性がある。そこで、イカダバルスカスに使用する可能性がある殺虫剤および殺菌剤によって出荷品質にどのように影響するのか明らかにすることを目的とした。

## 【方 法】

- 1) 2001年6月、20cm間隔でプランターに定植したイカダバルスカス苗を用いた。イカダバルスカスで使用するのことができる、花き類(草本植物)・観葉植物に登録がある農薬10種類を用いた(表1)。散布濃度は通常濃度および通常濃度の2倍の濃度で薬剤散布を行った。
- 2) 散布後、2～3日で葉の汚れを観察した(－, ±, +, ++, +++の5段階評価(表2))。
- 3) 灌水による洗浄効果を見るため、頭上灌水を行い、翌日に調査を行った。
- 4) どぶづけによる洗浄効果を見るため、一晩水浸漬し翌日調査を行った。
- 5) 1週後に、薬害の有無を調査した。

## 【成果の概要】

- 1) 試験結果を表1に示した。葉の汚れはオルトラン水和剤とトップジンM水和剤で著しく発生した。ベストガード水溶剤では全体的に薄く「てかり」が付いた。そのほかの薬剤は目立った汚れは付かなかった。
- 2) 頭上灌水による洗浄効果は、オルトラン水和剤とトップジンM水和剤では若干汚れが少なくなる程度で商品価値の回復に至るものではなかった。
- 3) 一晩水浸漬した結果、オルトラン水和剤はそれほど落ちなかったのに対し、トップジンM水和剤は通常濃度でかなり目立たなくなった。
- 4) いずれの処理区も薬害は発生しなかった。
- 5) まとめ: オルトラン水和剤とトップジンM水和剤を使用する場合は、葉の汚れが発生する可能性が高いので、注意して使う必要がある。なるべく出荷予定日の近くでは使用しない方がよい。

表1 ルスカスに使用できる主な農薬(花き類(草本植物)・観葉植物の登録)

薬剤名	規定濃度※	適用病害虫
アディオオン乳剤	2000倍	カメムシ類, ハマキムシ類, ヨトウムシ類
アドマイヤーフロアブル	2000倍	アブラムシ類
オルトラン水和剤	1000倍	アザミウマ類, アブラムシ類, アオムシ, ヨトウムシ類
スタークル顆粒水溶剤	3000倍	アブラムシ類
ベストガード水溶剤	1000倍	コナジラミ類
マラソン乳剤	2000倍	ハダニ類, アブラムシ類, アザミウマ類
モスピラン水溶剤	4000倍	アブラムシ類
ロディー乳剤	1000倍	アブラムシ類, ハダニ類
トップジンM水和剤	1500倍	菌核病
ポリオキシシンAL水溶剤	2500倍	灰色かび病, 黒斑病, うどんこ病

※適用濃度に幅がある場合は高濃度側を規定濃度とした。

表2 葉汚れの具体例

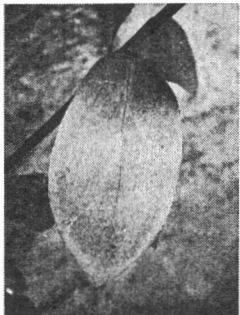
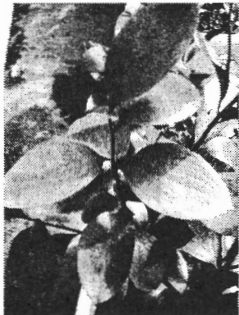


			
集積した場所等, 一部に見られる(±)	目立たないが全体に見られる(+)	汚れが全体に見られる(++)	全体の汚れが著しい(+++)

表3 各種農薬によるルスカス葉の汚れおよび薬害の有無

農薬の名称	希釈倍率	葉汚れ	薬害	洗浄処理	
				散水	水浸漬
アディオオン乳剤	規定濃度	±	—	—	—
	2倍濃度	±	—	±	—
アドマイヤーフロアブル	規定濃度	±	—	—	—
	2倍濃度	±	—	—	—
オルトラン水和剤	規定濃度	+++	—	++	+
	2倍濃度	+++	—	+++	++
スタークル顆粒水溶剤	規定濃度	±	—	—	—
	2倍濃度	±	—	—	—
ベストガード水溶剤	規定濃度	+	—	±	—
	2倍濃度	+	—	±	—
マラソン乳剤	規定濃度	±	—	—	—
	2倍濃度	±	—	±	—
モスピラン水溶剤	規定濃度	±	—	±	—
	2倍濃度	±	—	±	—
ロディー乳剤	規定濃度	±	—	—	—
	2倍濃度	±	—	—	—
トップジンM水和剤	規定濃度	+++	—	++	±
	2倍濃度	+++	—	+++	+
ポリオキシシンAL水溶剤	規定濃度	—	—	—	—
	2倍濃度	—	—	—	—